

政策	53 スポーツの推進						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民全般						
施策が目指す姿	身近にスポーツを楽しむコミュニティの活動の場としてスポーツ施設や運動広場などの充実が図られています。 各種大会・教室の開催などスポーツを楽しむ機会の充実が図られています。						
成果指標	体育館・グラウンド等のスポーツ施設への市民満足度...2022年度で90%（現状値74%） スポーツ大会・教室への市民満足度...2022年度で95%（現状値88.2%）						
目標達成状況			平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	成果指標1 [%]	予定	77.50	81.00	84.00	87.00	90.00
		実績	89.97	84.27	91.70		
	成果指標2 [%]	予定	90.00	92.00	93.00	94.00	95.00
		実績	93.30	89.47	91.60		
	成果指標3 []	予定					
		実績					
	成果指標4 []	予定					
実績							
トータルコスト (千円)	予定	283,277	354,615	346,245	0	0	
	実績	233,833	291,048	346,245	0	0	
内部評価	貢献度	基本方針を進めるためには、スポーツ施設の整備・充実やスポーツを楽しむ機会の充実が必要であり、本基本施策の目標達成のための貢献度は高い。					
	達成状況	新型コロナにより中止や施設利用制限にもかかわらず満足度の数値に上昇が見られたことは、非常事態として今回の対応はやむを得ないと評価された結果と判断した。					
	課題	市民からのご意見には施設整備や施設の今後の維持管理などについて厳しい意見もあることから、市民のご意見を反映し利用しやすい施設づくりが必要である。					
	取組方針	スポーツ施設ストック適正化計画の策定により今後10年間の計画的施設管理による環境の向上及び魅力あふれるスポーツイベントの開催など生涯スポーツの推進に努めたい。					
外部評価	成果指標の「体育館・グラウンド等のスポーツ施設への市民満足度」については、施設利用者による評価のため高い結果となっている。利用しない市民への調査を行うなど、幅広く意見・要望を聴いた上で分析を行い、施設の管理運営に活かして欲しい。 「スポーツ大会・教室への市民満足度」については、コロナ禍による影響もあると思うが、対策をして開催することができた大会・教室についてノウハウを共有し、これからの事業の実施に活用してもらいたい。						
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	5301	スポーツ環境の充実				260,941	74
	5302	生涯スポーツの推進				85,304	47

単位・基本 施策評価表 補表

施策	53 スポーツの推進		
区分	妥当性	妥当	生涯スポーツの推進には、スポーツ協会及び各種スポーツ団体との連携が必要であり、各種事業の実施は妥当である。
	コスト削減の余地	有	事業実施による効果を検証し、コストの検証を行い適正な執行を務める必要がある。
	受益者負担	適正	時代背景やニーズなども検証しながら受益者負担の必要性、負担すべき金額を設定してまいりたい。
	上位貢献度	有効	「大会参加者数」「施設利用者数」の向上のためには、貢献度は高く有効である。
	類似事業の有無	無	他に類する事業で代替は困難である。
	成果向上の余地	有	各種スポーツ団体などの活動に必要な情報提供を充実させるとともに団体間の交流を促進することで、活動の活性化や組織の育成支援・ネットワーク化を図ることにより成果向上の余地がある。
内部評価	貢献度	基本方針を実現するために、市民が利用しやすい施設づくりや市民がスポーツ活動に親しむためのきっかけづくりを実践する場の確保に向けて、身近なスポーツ大会・イベントなどの充実を図る必要がある。各単位施策の貢献度は高い。	
	達成状況	毎年度、施設利用者及びイベント参加者にアンケートを実施している。令和2年度において、「スポーツ大会・教室への参加者の満足度」及び「体育館及びグラウンド等の施設利用者の満足度」について、共に満足度が上昇したが、コロナ禍において、アンケートの実施時期が利用制限から解除された時期であることや、回答者数も少なかったことから、施設を利用できることやイベントに参加できることへの満足度と捉えており、アンケートの実施方法について再考の必要がある。	
	課題	スポーツ施設ストック適正化計画を策定したことから、計画内容に沿った維持補修を行っていく必要がある。 また、既存のイベント・大会の内容の充実を図り、市民の満足度を向上させる工夫が必要である。	
	取組方針	令和元年度に栃木市スポーツマスタープランの改訂版を策定、令和2年度にスポーツ施設ストック適正化計画を策定した。こうした計画の策定により将来に向けた計画的維持修繕と魅力あふれるイベントに取り組むことで市民満足度を高めたい。 市民アンケートは今後も継続し、市民が快適にスポーツを楽しめるよう、施設の適切な維持補修を行うほか、イベント・大会についてはより多くの方が参加できるよう工夫と周知に努めたい。	